

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 大東紡織株式会社
 コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(氏名) 寛 正澄
 (氏名) 加久間 雄二

TEL 03-3665-7816

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	8,570	—	45	—	△229	—	△256	—
20年3月期第3四半期	8,257	△6.7	△25	—	△228	—	△505	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△8.56	—
20年3月期第3四半期	△16.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	27,450	6,408	21.5	196.75
20年3月期	27,641	6,715	22.4	206.37

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,891百万円 20年3月期 6,180百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,460	△1.5	80	△68.3	△290	—	△310	—	△10.35

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 30,000,000株 20年3月期 30,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 57,084株 20年3月期 53,343株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 29,944,632株 20年3月期第3四半期 29,952,016株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。通期の業績予想に関する事項につきましては、本日平成21年2月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、リーマンショック後の不況に襲われ、株価の急落や円高による輸出の後退などにより企業業績の下方修正が次々に発表されるという非常に厳しい状況に直面しました。

このような状況下で、繊維・アパレル業界におきましては、消費者の買い控えと低価格志向から小売業の売上が前年同期を大きく下回り、またバーゲンセールも盛り上がりを欠いたことなどから予想を超える打撃を受ける結果となりました。

不動産賃貸業界における商業施設については、消費の冷え込みで都心の百貨店が総じて売上を落とす中、都心周辺のショッピングセンターは立地・施設の魅力により売上に格差が拡がりつつあります。

このような事業環境の中で、繊維・アパレル事業につきましては、景気の後退による衣料品の買い控え等の影響から厳しい状況が続きました。他方、不動産事業につきましては、「サントムーン柿田川」及び平成20年9月にグランドオープンした「サントムーンアネックス」（「サントムーン柿田川」第3期開発事業施設）とも好調を維持しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,570百万円、営業利益45百万円、経常損失229百万円となりました。

なお、新中期経営計画の施策として繊維・アパレル事業におきまして、(株)コスモエイの事業を譲り受けました。これにより今まで当社グループで取り扱っていなかったニット製品の企画提案型OEMを新たな切り口とし、現状の取引との相乗効果を図ってまいります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(繊維・アパレル事業)

素材部門につきましては、非塩素防縮加工のEウールは市況の低迷により売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォーム部門につきましては、民需は環境の悪化により予定していた受注が取れなかったものの、売上高は前年同期並みを確保しました。官公需は官公庁の財政難等から制服用生地の販売が芳しくなく売上高は前年同期を若干下回りました。

衣料部門につきましては、紳士重衣料は販売不振により売上高は前年同期を下回りましたが、紳士カジュアル衣料は受注増により売上高は前年同期を上回りました。婦人衣料は取引先の在庫調整や受注減により厳しい環境にありますが、(株)コスモエイから事業を譲り受けたこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

寝装品部門につきましては、業界全体は引き続き不振でしたが、新規販売ルートの開拓が功を奏し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業は売上高6,948百万円、営業損失128百万円となりました。

(不動産事業)

「サントムーン柿田川」は周年祭や歳末売り出しを実施し、各テナントとも好調に推移いたしました。また、平成20年9月にグランドオープンした「サントムーンアネックス」（「サントムーン柿田川」第3期開発事業施設）につきましても好調なテナントへの来客増が他テナントにも波及し、順調な滑り出しとなりました。

この結果、不動産事業は売上高1,621百万円、営業利益489百万円となりました。

(注) 1. 上記の事業別セグメントの業績に記載している営業利益は、セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

2. 所在地別セグメントの業績については、全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 当社の消費税等に係る会計処理は、税抜方式によっているため、記載した金額には消費税等は含まれておりません。

4. 記載している見通し等将来についての事項は、本資料の発表日現在において判断したものであり、予測しえない経済環境の変化等様々な要因があるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産等の状況に関する分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は27,450百万円となり、前期末に比べ190百万円減少（前期末比0.7%減）しました。これは主に、現金及び預金の増加409百万円、受取手形及び売掛金の減少385百万円、債券の満期償還に伴う有価証券の減少740百万円、「サントムーン柿田川」第3期開発等に伴う有形

固定資産の増加785百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は21,041百万円となり、前期末に比べ115百万円増加（前期末比0.6%増）しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加305百万円、短期借入金の増加1,452百万円、設備支払手形の減少1,892百万円、長期借入金の減少300百万円、長期預り保証金の増加424百万円によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産の残高は6,408百万円となり、前期末に比べ306百万円減少（前期末比4.6%減）しました。これは主に、利益剰余金の減少256百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,591百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで2,435百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで508百万円のプラスとなりました。

これらの各活動に加え、為替相場の変動による資金に係る換算差額6百万円を減少した結果、資金の残高は1,412百万円となり、前期末に比べ340百万円減少しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,591百万円のプラスとなりました。これは主に、減価償却費452百万円、売上債権の減少411百万円、仕入債務の増加306百万円、預り保証金の増加453百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,435百万円のマイナスとなりました。これは主に、「サントムーン柿田川」第2期並びに第3期開発計画等に伴う有形及び無形固定資産の取得による支出3,148百万円、有価証券の償還による収入740百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、508百万円のプラスとなりました。これは主に、短期借入金の純増加額434百万円、長期借入れによる収入2,244百万円、長期借入金の返済による支出1,526百万円、担保提供預金の増加額740百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成20年11月13日発表の予想数値を変更しております。詳細につきましては、本日平成21年2月12日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,402,820	1,993,728
受取手形及び売掛金	2,583,784	2,969,682
有価証券	—	740,625
商品	669,645	821,925
製品	19,430	4,133
半製品	12,772	13,017
原材料	160,057	154,483
仕掛品	302,241	259,672
繰延税金資産	—	135,635
その他	466,532	455,601
貸倒引当金	△25,999	△25,788
流動資産合計	6,591,284	7,522,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,794,489	8,984,892
土地	9,466,933	9,466,933
その他（純額）	494,346	518,232
有形固定資産合計	19,755,769	18,970,058
無形固定資産	107,845	113,229
投資その他の資産		
投資有価証券	340,129	388,288
破産更生債権等	817,474	814,389
その他	372,247	367,450
貸倒引当金	△534,259	△534,848
投資その他の資産合計	995,593	1,035,279
固定資産合計	20,859,208	20,118,567
資産合計	27,450,493	27,641,286

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,273,494	1,968,100
短期借入金	4,417,854	2,965,826
未払法人税等	17,206	16,277
繰延税金負債	504	—
返品調整引当金	39,167	203,415
賞与引当金	28,038	29,464
その他	1,000,950	2,687,006
流動負債合計	7,777,216	7,870,089
固定負債		
長期借入金	6,177,164	6,477,710
長期預り保証金	3,823,776	3,399,034
繰延税金負債	11,010	146,041
再評価に係る繰延税金負債	2,941,904	2,941,904
退職給付引当金	62,587	56,208
その他	248,156	34,950
固定負債合計	13,264,599	13,055,849
負債合計	21,041,815	20,925,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	503,375	503,375
利益剰余金	△430,573	△174,308
自己株式	△6,412	△6,096
株主資本合計	1,566,389	1,822,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,499	35,845
繰延ヘッジ損益	△715	△2,184
土地再評価差額金	4,264,422	4,264,422
為替換算調整勘定	45,696	59,043
評価・換算差額等合計	4,324,903	4,357,126
少数株主持分	517,384	535,250
純資産合計	6,408,677	6,715,347
負債純資産合計	27,450,493	27,641,286

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	8,570,511
売上原価	6,719,694
売上総利益	1,850,816
販売費及び一般管理費	1,805,073
営業利益	45,743
営業外収益	
受取利息	9,995
その他	21,033
営業外収益合計	31,028
営業外費用	
支払利息	276,692
その他	29,417
営業外費用合計	306,109
経常損失(△)	△229,337
特別利益	
固定資産売却益	290
投資有価証券売却益	9,552
貸倒引当金戻入額	373
特別利益合計	10,215
特別損失	
固定資産処分損	3,803
投資有価証券評価損	2,369
その他	607
特別損失合計	6,781
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,903
法人税、住民税及び事業税	20,213
法人税等調整額	13,570
法人税等合計	33,783
少数株主損失(△)	△3,421
四半期純損失(△)	△256,265

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△225,903
減価償却費	452,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△373
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△164,248
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,426
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,379
受取利息及び受取配当金	△14,310
支払利息	276,692
固定資産除売却損益 (△は益)	3,513
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,552
売上債権の増減額 (△は増加)	411,881
たな卸資産の増減額 (△は増加)	128,322
仕入債務の増減額 (△は減少)	306,390
預り保証金の増減額 (△は減少)	453,420
その他	243,818
小計	1,867,349
利息及び配当金の受取額	14,882
利息の支払額	△267,717
法人税等の支払額	△22,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,591,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,148,192
固定資産の除却による支出	△400
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,130
有価証券の償還による収入	740,000
投資有価証券の取得による支出	△1,035
投資有価証券の売却による収入	21,516
営業譲受による支出	△46,751
その他	△1,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,435,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	434,333
長期借入れによる収入	2,244,000
長期借入金の返済による支出	△1,526,851
担保提供預金の増加額	△740,000
セール・アンド・リースバックによる収入	100,000
リース債務の返済による支出	△2,279
自己株式の取得による支出	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー	508,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,058
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△340,907
現金及び現金同等物の期首残高	1,753,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412,820

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	繊維・アパレル事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,948,698	1,621,812	8,570,511	—	8,570,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	541	7,076	7,617	(7,617)	—
計	6,949,240	1,628,888	8,578,129	(7,617)	8,570,511
営業利益又は営業損失(△)	△128,563	489,004	360,441	(314,698)	45,743

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、事業の種類の種類類似性及びに製品の種類、性質及び販売市場等の類似性を考慮して区分している。

2. 各事業区分の主要品目

事業区分	売上区分	主要品目
繊維・アパレル事業	素材部門	糸、織物
	ユニフォーム部門	ユニフォーム用素材、制服
	衣料部門	紳士服、婦人服
	寝装品部門	ふとん、毛布、シーツ
不動産事業		不動産賃貸、商業施設の運営・管理

3. 当第3四半期連結累計期間に「サントムーン柿田川」第3期開発の改修工事が完了したこと等に伴う不動産事業の資産の増加額は1,232,749千円である。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略している。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年 3 月期 第 3 四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	8,257,775
II 売上原価	6,440,445
売上総利益	1,817,329
III 販売費及び一般管理費	1,842,630
営業損失	25,300
IV 営業外収益	
1 受取利息	9,087
2 受取配当金	4,533
3 その他	14,366
営業外収益合計	27,987
V 営業外費用	
1 支払利息	203,239
2 その他	27,898
営業外費用合計	231,138
経常損失	228,452
VI 特別利益	
1 固定資産売却益	21,297
2 投資有価証券売却益	5,340
特別利益合計	26,637
VII 特別損失	
1 固定資産処分損	123,173
2 貸倒引当金繰入額	35,053
3 過年度役員退職慰労引当金繰入額	30,637
4 その他	5,603
特別損失合計	194,468
税金等調整前四半期純損失	396,283
税金費用	93,795
少数株主利益	15,630
四半期純損失	505,710

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純損失	△396,283
2 減価償却費	340,009
3 貸倒引当金増減額 (減少: △)	8,582
4 返品調整引当金増減額 (減少: △)	△141,424
5 賞与引当金増減額 (減少: △)	△8,470
6 退職給付引当金増減額 (減少: △)	△99,946
7 受取利息及び受取配当金	△13,620
8 支払利息	203,239
9 固定資産処分 (売却) 損益 (益: △)	101,876
10 売上債権増減額 (増加: △)	299,484
11 たな卸資産増減額 (増加: △)	286,039
12 仕入債務増減額 (減少: △)	△200,300
13 預り保証金増減額 (減少: △)	961,102
14 その他	△295,951
小計	1,044,335
15 利息及び配当金の受取額	14,002
16 利息の支払額	△195,673
17 法人税等の支払額	△19,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	843,371
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形・無形固定資産取得による支出	△627,055
2 有形・無形固定資産処分による支出	△18,416
3 有形・無形固定資産売却による収入	484,935
4 投資有価証券取得による支出	△1,032
5 投資有価証券売却による収入	306,511
6 その他	125,692
投資活動によるキャッシュ・フロー	270,634
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金純増減額 (純減少: △)	△1,369,908
2 長期借入による収入	2,250,000
3 長期借入金返済による支出	△994,091
4 自己株式純増減額 (純増加: △)	△930
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,929
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	10,360
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	1,009,435
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,619,578
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,629,013